



「みる・みる・三鷹」J: COMチャンネル武蔵野・三鷹(地デジ11チャンネル)
第491回(1月1日～1月14日)
〈新春特集〉清原慶子市長が語る2017年の三鷹市政
放送時間/月～日曜日 9:00 12:30 20:00 23:30



むさしのFM 78.2MHz
「おはよう! 三鷹市です」放送時間/月～金曜日 10:20～10:25
「三鷹くちこみテレフォン」放送時間/木曜日 9:45～9:55

人口と世帯 平成28年12月1日現在 ()内は前月との増減

住民登録者数: 185,273人(6人増) 男: 90,799人(31人増)/女: 94,474人(25人減)
世帯: 92,056世帯(27世帯減)

新春恒例！三鷹市消防団出初式

消防団が日頃の訓練成果を披露します

日 1月8日(日)午前10時から
所 一中校庭 申 当日会場へ
問 防災課 ☎内線2283



◆主な内容

- ・三鷹市消防団消防ポンプ自動車などによる分列行進、消防操法演技
 - ・三鷹消防署、東部住区防災連合会、東京消防庁災害時支援ボランティアとの連携による一斉放水演技
 - ・北多摩陸消防組第一区二番組による木やり行進演技
 - ・三鷹消防少年団、女性防災リーダーの会による規律演技
 - ・一中吹奏楽部による演奏
 - ・消火活動に協力した市民や消防団員の表彰
 - ・消防ポンプ自動車の写真撮影コーナー
 - ・平成27年3月に矢吹町から50年ぶりに返還された三輪の消防ポンプ自動車の展示
- ※荒天や校庭の状況が不良の場合は、同校体育館で式典のみ行います。

◆市内パレード

当日は、三鷹警察署の白バイを先頭に、三鷹市消防団と三鷹消防署の消防ポンプ自動車が生役所を午前8時30分に出発し、東西に分かれて一中までパレードします。



小説家・中島京子さんによる 文学講演会「走るか？ メロス」

問 コミュニティ文化課 ☎内線2515
(当日は芸術文化センター ☎47-9100)

太宰治賞の選考委員でもある中島京子さんが、中学生で初めて太宰治作品を読んだときに感じた苦手意識や、大人になって再読した際に見えてきた明るく陽気でサービス精神旺盛な作家の姿など、苦手を克服して太宰の魅力を発見するまでを語ります。

主 市、(株)筑摩書房

日 1月21日(土)午後2時～3時30分(入場整理券を0時30分から配布、1時30分開場)

人 200人 所 同センター星のホール

申 当日会場へ(先着制)

◇中島京子(なかじま・きょうこ)さんプロフィール
昭和39年、東京都生まれ。東京女子大学卒業後、出版社で女性誌の編集に携わった後、1年間の米国留学を経てフリーライターとなる。平成15年『FUTON』でデビュー。22年『小さいうち』で直木賞、26年『妻が椎茸だったころ』で泉鏡花文学賞、27年『かたづの!』で柴田錬三郎賞、『長いお別れ』で中央公論文芸賞を受賞。28年の第32回太宰治賞から選考委員を務める。



文化財講演会

「三鷹の変遷と 工場の変遷」

問 生涯学習課 ☎内線3315

工場とともに発展してきた三鷹のまち。近所に工場があることは知っていても、何を作っているのか、三鷹とどのような関わりがあるのか、意外と知らない方も多いのではないのでしょうか。

同講演会では、市の変遷に大きな影響を与えてきた富士重工業(株)と日本無線(株)の各工場の変遷から、その歴史と技術をひもときます。

日 1月29日(日)午後2時～4時

人 80人 所 三鷹産業プラザ

講 東京大学大学院工学系研究科助教の初田香成さん、富士重工業(株)総務部の岩田陽一さん、日本無線(株)社史編集室の渡邊安浩さん

申 当日会場へ(先着制)

根付 江戸と現代を結ぶ造形展

根付(ねつけ)とは、印籠や巾着などの持ち物を携帯する際にひもの先端に付け、帯にくぐらせ留め具として用いる小さな彫刻(細工物)です。庶民文化が成熟した江戸後期に全盛期を迎え、実用品から装飾品としての性格を強めていきます。明治になると洋装化に伴い国内需要は衰えますが、欧米人からの評価が高まるなどして、今現在も現代感覚を持ったさまざまな根付が生み出されています。

同展では、江戸から現代にかけての作品約300点を紹介。今も息づくその魅力と、江戸と現代を結ぶ造形の妙をご堪能ください。

◇協力：(公財)京都 清宗根付館

日 1月14日(土)～3月20日(祝)午前10時～午後8時(入館は7時30分まで)

※月曜日休館(3月20日を除く)。

¥ 一般600円、65歳以上・学生300円

※中学生以下・障害者手帳などをお持ちの方は無料。この記事を持参の方は、一般600円を480円に割引きます(1回に限り2人まで)。



針谷絹代「花籠」2011年
象牙・漆・金粉/3.2×2.3×2.5cm



青木光行「福助」2008年
象牙/3.7×4.2×2.9cm



栗田元正「初音」2009年
鹿角・金・銅
2.4×5.1×1.6cm

三鷹市美術ギャラリー

JR三鷹駅前(南口)CORAL5階 ☎79-0033
HP <http://mitaka.jpn.org/gallery/>

チケットインフォメーション



公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団

問 同財団 ☎47-5122

HP <http://mitaka.jpn.org/>

ニューイヤー・ファミリーコンサート2017 小学校訪問演奏アーティストによる『くるみ割り人形』

芸術文化センター 風のホール 全席指定 チケット発売中

市内の小学校を訪問しているプロの演奏家が、バレエ音楽で有名な『くるみ割り人形』をイラスト上映やお話と合わせてお届けします。クラシック音楽の魅力を本格的な演奏で気軽にお楽しみください(後援：市教育委員会、助成：芸術文化振興基金)。

◆赤ちゃんからのクラシック

1月14日(土)午後2時開演 ※残席僅少。

◆小学生からのクラシック 保育

1月15日(日)午後3時開演(約2時間・休憩あり)

会員=1,600円 一般=1,800円 中高生=900円 小学生=500円

休憩時間と終演後に、ロビーで「みたかジュニア・オーケストラによる弦楽器体験」を実施します。

【出演】田村緑(ピアノ)、神谷未穂(バイオリン)、丸山泰雄(チェロ)、中川賢一(ピアノ)、丸田悠太(フルート)、池田祐子(オーボエ)、西尾郁子(クラリネット)、藤田旬(ファゴット)、小川正毅(ホルン)、原きよ(司会・お話)、六小合唱団有志

【曲目】ブラームス：ハンガリー舞曲第6番、ドイツ民謡(石川亮太編曲)：山の音楽家じゅんぱん協奏曲、スタジオジブリ作品より(曲目は当日のお楽しみ)、チャイコフスキー(梅本由紀編曲)：『くるみ割り人形』ほか



イラストレーション：あさい とおる

関連プログラム 管楽器体験ワークショップ 「キミも管楽器マスター！」

楽器の音が出る仕組みや、「リード」「マウスピース」といった部品を紹介。ミニコンサートもあります。

日 1月15日(日)午前10時～11時30分

人 小学生以上の方40人

所 芸術文化センター

講 風の五重奏団の丸田悠太さん、池田祐子さん、西尾郁子さん、藤田旬さん、小川正毅さん

¥ 500円

申 同センター

☎47-5122へ
(先着制)



風の五重奏団

PARTNER

財団主催の公演チケットまたはチケット半券で、三鷹駅周辺の「チケットパートナーショップ」協力店でさまざまなサービスが受けられます(サービス有効期間は公演日から7日間)。

チケット お求め方法

電話・窓口販売は1月5日(木)からです。

●電話予約

芸術文化センター
☎47-5122
10:00～19:00

●インターネット予約(要事前登録)

パソコン <http://mitaka-art.jp/ticket>
携帯電話 <http://mitaka-art.jp/ticket-m>
(座席自動採番)

●窓口販売 10:00～19:00

月曜日休館(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)
芸術文化センター／三鷹市公会堂さんさん館／美術ギャラリー
※学生券をお求めの方は、公演当日学生証をお持ちください。
※発売中のチケットについて、販売状況により完売となった場合はご了承ください。

保育 料金500円、対象は1歳～未就学児、定員10人(1月5日までに申し込む)

※特に記載のない場合は、公演事業は未就学児の入場をお断りしています。

友の会「マークル」会員募集中! 年会費/2,000円 会員特典/チケットの優先予約・割引(1公演2枚まで)・ポイントサービス、情報誌の送付、チケットの無料送付(口座会員のみの)、芸術文化センター・三鷹市公会堂レストランでの飲食代金10%オフなど。